

MUJINTO

The Alumni Association of Otani University

# 無 毒 燈

2011年9月  
No.136



大谷大学同窓会

大谷大学と私

「恩師山口益先生に出会う」

小川一乗先生にインタビュー



本学において、永年にわたり教鞭をおとりいただきました小川一乗先生に、尋源館にお越しいただき、お話を伺いました。

—先生は大谷大学の学長を退任された後、東本願寺の教学研究所の所長を五年にわたってお務めになりました。現在は北海道のご自坊にお住いのことですが、普段はどんなふうにお過ごしですか。

自坊では長男が法務のほとんどを仕切っておりますので、私は忙しい時に手伝うだけです。ほとんど部屋にいて本を読んだり、原稿を書いたり、好きなことをして過ごしています。昔からお酒が好きで、今も晩

酌を楽しんでいますよ。時々ご縁があつて、あちらこちらに向いて講義や講演などをしていきます。自坊に居るのは月の半分ぐらいですね。

—先生が大谷大学に入学された経緯についてお聞かせください。

昭和三十年に北海道から谷大に入学しました。私には他に勉強したいこともあったのですが、「住職になる者は谷大にいつて仏教を学ぶべきである」という父親の方針に逆えず、止むなく谷大に入りました。

—入学後、とくに印象に残った授業はありますか。

はじめは谷大の仏教学にはほとんど何の期待もありませんでしたが、山口益先生の仏教学に出遇って、本当にびっくりしました。先生は「近代仏教学」という学問をとおして、親鸞聖人の教えを説明しようとしていました。「山口先生のもとで勉強がしたい」という気になり、大谷大学にきて本当によかったと、心の底からそう思いましたね。

二回生になって実際に先生の『般

若思想史』をテキストにした「仏教学概論」の授業を聴いた時には、大きな感動をうけました。山口先生に出遇えたということが、何と言っても私と谷大の関係の基本です。

—山口益先生の「近代仏教学」との出遇いについて、もう少しお話しください。

親鸞聖人の教えというものは、江戸時代まではいわゆる宗学ですね。江戸宗学を基本とする真宗の信仰形態は、「そのまま、そのまま」「ありがたい、ありがたい」という愚夫愚婦の教えとなりました。

それに対して、清沢満之先生（初代学長）は西洋哲学をベースにして信心の解明をされました。また鈴木大拙先生は、宗学のなかでも比較的知性的であった禅に自己を問いながら、先生一流の「即非の論理」という仏教の基本的な立場から、真宗の信心に言及されました。

一方、英国でサンスクリット文献の解読を学ばれた南条文雄先生（第二代学長）によって、初めて日本に近代仏教学の第一歩が記されました。その近代仏教学がちょうど学問として成熟しつつあった時代に、私は山口益先生と出遇えたのです。

—先生はそのなかでも、山口先生の近代仏教学の学問を引き継いでおられるということですね。

山口先生のご指導のもとで、近代仏教学による真宗教学の解明ということが、これからの基本とならなければならぬ、という先生の信念に出遇って、驚いたのです。

先生の仏教学は、仏教を単に客観的に解明するだけではなく、今自分が親鸞聖人の教えに立つて、人間としてそれを明らかにするための仏教学なのだ、という姿勢が鮮明でした。これこそが大谷大学の仏教学だということ、痛感しました。

清沢先生は哲学で、鈴木先生は禅で、そして山口先生は近代仏教学で親鸞聖人の教学を解明されたのです。その山口先生の教えの一端を引き継がせてもらっている、というのが私の大谷大学における学問だったと思います。

—山口先生のゼミではどうでしたか。学生には厳しく接しておられたのでしょうか。

私のゼミは、厳しいため人気がなく、いつも少人数のゼミでした。厳しく指導するため泣きだす学生もいました。そういう学生を、励ます意味で飲みにつれて行ったこともありましたね。

実は私自身、山口先生の指導の下で、ゼミの発表があたって、散々コテンパンにやられた後は、自分がなさげなくて、映画館にひとり行って



暗闇で泣きました。三本立ての映画館で。そんなこともありましたね。  
—卒業論文では龍樹の『中論』を学ばれたのですか。

いいえ、卒業論文で私が取りあげたのは「如来蔵思想」です。少し以前にも学界で話題になったことです。が、如来蔵思想は仏教ではない、つまり、「仏性がある」という有的な考え方は仏教とは言えない、という疑問が提起されたことがありましたね。当時の私にも同じ疑問があり、卒論で「如来蔵思想は仏教にあらず」ということを証明しようとした。結果的には逆に、如来蔵思想は大乗仏教にとって重要な思想である、ということがわかりました。

口頭試問の先生は、山口先生、副査は安井広済先生と、中国仏教の安藤俊雄先生のお三方でした。私にたいする試問よりも、仏性思想について山口先生と先生方が議論を始められ、私はそれをただお聞きしていたことを思い出します。

—最後に先生の「大谷大学へのメッセージ」をお聞かせください。

学長のときに、「ミッション」「パッション」「アクシジョン」の三つが私立大学の基本だと言ったことがあります。「ミッション」とは、建学の精神ですね。「パッション」はそれに対する情熱でしょう。そして、そ

れをどう具体的な行動に移していくか、それが「アクシジョン」です。今は、これらの気迫が稀薄では？

大谷大学とは、あくまでも仏教精神の何たるかを問い続けていく大学なのだ、ということですね。それをお互いに自己確認し合っていないかと、大谷大学は世間に流された存在価値のない大学になってしまおうのです。

私は学長のときから、大谷大学を世界に唯一の仏教研究センターにしたいという構想をもっていました。一つはそのようなグローバルな視点ですね。もう一つ大事な点として、親鸞聖人の教えを特に近代仏教という学問をとおして説明していく場が大谷大学である、と私は考えます。

人びとが真宗や信心と出会うとき、そこにはさまざまな出遇い方があるでしょう。しかし、大学である以上、「学問」をとおしてそれに出遇っていないかなければならない。仏教学が親鸞聖人の教えに学的に出遇う営みであるとする、それは近代仏教学しかない、というのが私の信念です。

南条文雄先生によって近代仏教学が日本にもたらされてから百年以上たった現在、真宗の教学を近代仏教学によって明らかにされた仏道体系によって、解明していく。

そのようにして、これからも親鸞聖人の教学は解明され続けなければ

ならないし、その学問的中心を担うのが大谷大学です。だから、その基本的な使命を忘れることなく、大事

な役割をどこまでも進めていって欲しい。それが私の大谷大学にたいする願望なのです。

〔略歴〕

- 一九三六年 北海道に生まれる
- 一九五九年 大谷大学文学部仏教学科卒業
- 一九六五年 大谷大学大学院博士課程満期退学
- 一九六九年 大谷大学専任助手
- 一九七四年 大谷大学助教授
- 一九七九年 大谷大学教授
- 一九八二年 大谷大学文学博士
- 一九八六年 大谷大学学監・文学部長
- 一九九六年 大谷大学学長
- 二〇〇〇年 大谷大学退職
- 二〇〇四年 大谷大学名誉教授
- 現在

〔著書〕

- 『インド大乘仏教における如来蔵・仏性の研究』（日本宗教学会賞受賞）
- 『仏性思想』『空性思想の研究』

- 『大乘仏教の原点』
- 『十住毘婆沙論試探—親鸞が学んだ龍樹の仏道—』
- 『大乘仏教の根本思想』
- 『仏教からみた往生思想』
- 『いま人間を考える』
- 『脳死—現代の生を問う—』
- 『親鸞と大乘仏教』（最終講義録）
- 『さとりとすくい—涅槃経を読む—』
- 他著書 多数

〔論文〕

- 「智慧から慈悲への動向」
- 「大乘」における仏教の全的把握のために」
- 「仏性思想における空性の問題」
- 「輪廻・転生」に関する龍樹の見解」
- 「即」の仏道—龍樹における聖と俗の関係—」
- 他論文 多数

大谷大学ならではの仏教研究 大谷大学准教授（真宗学） 井上尚美

親鸞の教えは大乘仏教の根本思想に直結しているということを、小川先生は授業でもコンパの席でもよく話されました。「大乘としての浄土」の山口先生から学ばれた学問のあり方を、大谷大学の仏教学・真宗学の

中に伝えていきたいと願われているのだと思います。細かい研究の技術的なことよりも、仏教を学ぶ者の姿勢と思想が大事なんだということを、般若湯のグラスを傾けながら教えていただいた卒業生も多いのではないのでしょうか。



小川一乗先生へのコメント  
いのうえ たかみ  
1994年修了  
カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院修士課程宗教学専攻  
1995年  
同博士課程、博士論文提出資格取得

私がお世話になった頃の井上先生には、一度社会に出てから仏教学に戻ってきた人や、他大学で別の分野を学んでいるうちに仏教に惹きつけられた人など、変わった経歴の持ち主がいる居て活気がありました。演習では『入菩薩行論』を読んでもいましたが、予習の苦勞と終わった後の冷えたビールの美味しさ、不思議と結びついて思い出されます。



# 本部報告



## 二〇一一年度同窓会総会開催（報告）

二〇一一年五月十二日（木）午後一時三十分より、博綜館第一会議室において、本年度の総会が開催されました。

議長に長崎支部長の田中顕昭氏を選出。各議案について活発な審議をいただき、それぞれ承認を得ました。一、二〇一〇年度事業報告および

収支決算報告（左記「収支決算書」参照）

二、役員改選の件

▼同窓会発展のために多大なるご尽力を賜りました二階堂行邦副会長と中村高澄理事より、辞意表明のあったことが事務局より報告されました。また、二〇一一年四月の当局交代に

### 2010年度 大谷大学同窓会本部収支決算書

【収入の部】		(単位 円)
科 目	決算額	
1.前年度繰越金	3,832,256	
2.会 費	27,675,000	
会費(1)	1,785,000	
会費(2)	25,890,000	
3.入 会 金	4,315,000	
4.出版物等売上金	63,800	
5.出版事業積立金からの繰入収入	5,039,829	
6.雑 収 入	1,899,886	
合 計	42,825,771	

会費(1)：1990年度以前卒業生の終身会費・通常会費  
会費(2)：2010年度卒業生の終身会費

【支出の部】		(単位 円)
科 目	決算額	
1.事 業 費	11,563,739	
本部事業費	4,142,139	
支部事業助成費	5,260,615	
同期会・OB会等開催助成費	510,000	
学生会助成費	500,000	
新入会員歓迎費	1,150,985	
2.刊 行 費	5,004,279	
無盡燈刊行費	4,210,933	
印刷製本費	793,346	
3.事 務 費	3,002,903	
本部事務局費	12,735	
活動費	330,000	
通信費	2,660,168	
4.旅 費	8,074,982	
5.会 議 費	1,296,900	
6.委 託 費	2,297,365	
7.雑 費	414,799	
8.同窓会基金への繰入支出	5,429,635	
9.同窓会活性化準備金	61,950	
10.予 備 費	0	
11.次年度繰越金	5,679,219	
合 計	42,825,771	

### 2011年度 大谷大学同窓会本部収支予算書

【収入の部】		(単位 円)
科 目	予算額	
1.前年度繰越金	5,679,219	
2.会 費	26,340,000	
会費(1)	1,740,000	
会費(2)	24,600,000	
3.入 会 金	4,100,000	
4.出版物等売上金	700,000	
5.出版事業積立金からの繰入収入	0	
6.雑 収 入	1,221,100	
合 計	38,040,319	

会費(1)：1990年度以前卒業生の終身会費・通常会費  
会費(2)：2011年度卒業生の終身会費

【支出の部】		(単位 円)
科 目	予算額	
1.事 業 費	14,363,000	
本部事業費	4,280,000	
支部事業助成費	5,483,000	
同期会・OB会等開催助成費	700,000	
学生会助成費	500,000	
新入会員歓迎費	3,400,000	
2.刊 行 費	3,615,000	
無盡燈刊行費	2,940,000	
印刷製本費	675,000	
3.事 務 費	6,016,000	
本部事務局費	60,000	
活動費	576,000	
通信費	5,380,000	
4.旅 費	8,155,000	
5.会 議 費	1,590,000	
6.委 託 費	2,117,000	
7.雑 費	1,930,000	
8.同窓会基金への繰入支出	0	
9.同窓会活性化準備金	220,000	
10.予 備 費	34,319	
合 計	38,040,319	

常務理事	古川 哲史
常務理事	長谷岡英信
常務理事	門脇 健
監事	関根 良孝
監事	朽木 明暁
理事	吉田 法純
理事	竹園 関
理事	菅原 信顕
理事	沙加戸 明
理事	北畠 顕信
理事	加藤 隆昭
理事	奥村 豊
理事	大音 祖瑛
理事	井上 恵二
理事	石川 正生
常務理事	武井 弥弘
常務理事	柴田 達也
常務理事	稲垣 俊一
理事	佐賀枝夏文
副会長	等岳 兼昭
副会長	北原 了義
会長	藤島 建樹

記

に伴い、役職充て職として古川哲史准教授（学生部長）の常務理事就任が報告されました。任期満了に伴う全ての役員（会長・副会長・理事長・常務理事・理事・監事）の改選が行われ、左記のとおり決定いたしました。なお、役員任期は、会則第十三条により二〇一一年五月十二日から二年間となります。

常務理事 宮崎 健司  
常務理事 一楽 真  
常務理事 水谷 賢雄

また、総会後に総務部事務部長の交代がありました。そのため、六月一日より水谷賢雄常務理事に代わり、山崎学総務部事務部長が常務理事に就任いたしました。

▼「同窓会活動企画推進委員会」担当の常務理事につきましては、第一部会については等岳兼昭前常務理事に代わり稲垣俊一常務理事に、第二部会については引き続き柴田達也常務理事にご依頼することが事務局より報告されました。

三、「同窓会会則」ならびに「同窓会支部設置規程」の改正については、事務局より提案のとおり承認されました（詳細後記）。

▼今回の改正の骨子は、(一) 通常会員の資格として、新たに「科目等履修生」を加えたこと。(二) 代議員制による議決権の明確化を図るため、同窓会総会への出席者は各支部の代表者（支部長）一名とし、支部長が出席できない場合は代理人を立てることができるとしたこと。(三) 今回の改正は二〇一二年四月一日より施行することの三点です。これにより、来年度（二〇一二年）同窓会総会のご案内は支部長のみにご送付いたします。



四、同窓会活動企画推進委員会に  
関する件

▼宮崎健司常務理事（第一部会学内  
担当）から第一部会の部会活動報告  
がなされた後、「第十六回ホームカ  
ミングデー開催要項（案）」が提案  
され、承認されました。続いて、柴  
田達也第二部会長、一楽真常務理事  
（第二部会学内担当）から第二部会  
の活動報告ならびにNPO法人「尋  
源舎」の活動について報告がなされ  
ました。

五、二〇一一年度事業計画および  
収支予算（案）（前頁「収支予算書」  
参照・詳細後記）

六、その他

岩手支部長の代理として出席いた  
だいた杉村郁磨氏より「東日本大震  
災」の被害状況を報告いただきました  
た。その後事務局より、同窓会の具  
体的対応の経過報告が行われました。  
その結果、同窓会総会当日ならびに  
「同窓会支部総会および夏季八十講」  
開催時に、各支部の取り組みとして  
救援募金を行うことが承認されまし  
た。皆さまの救援募金へのご理解と  
ご協力をお願いいたします。

また、二〇一一年度卒業年次生へ  
の支援として、今回の「東日本大震  
災」に限り、学費免除・減額対象者  
の入会金を免除することとし、終身  
会費については二〇一一年度後期学

費納入時の徴収を猶予することも併  
せて承認されました。

## 同窓会予算について

同窓会予算については、学生数の  
減少に伴い、新入会員の方々から納  
めていただく入会金・終身会費収入  
の減少が年々続いており、同窓会会  
計が大変逼迫しています。この状況  
を打開し同窓会会計を再建するため  
に、二〇一一年度からいくつかの項  
目の支出を削減することが総会にお  
いて了承されました。

まず一つは、同窓会報『無盡燈』  
の発行を年二回から年一回に変更す  
ることによって『無盡燈』の印刷費・  
郵送費・委託費（発送作業費）を削  
減する。併せて、現行の同窓会ホー  
ムページの一層の充実を図る（後記  
参照）。

次に、夏季八十講の際の当局員の  
旅費について大学負担を増やし同  
窓会からの支出を抑える。さらに理  
事会、総会、同窓会活動企画推進委  
員会などにおける同窓会役員・支部  
長・同窓会活動企画推進委員の方々  
の旅費について、旅費交通費を実額  
に変更し、併せて宿泊費についても  
現行の一泊一万三千円を一万円の宿  
泊補助とする。

また、来年度（二〇一二年度）か  
らは総会への出席者を各支部一名と

する会則の変更が行われたことに伴  
い、総会における旅費の支出を抑え  
る。

以上のとおり、特記すべき同窓会  
予算について、報告いたします。

## 同窓会会則および同窓会支部 設置規程の一部改正について

同窓会会則については、

一、第六条第一項「聴講生及び中  
途退学者であつて本会に入会を希望  
するもの」を「科目等履修生、聴講  
生及び中途退学者であつて本会に入  
会を希望する者」に改正。

二、第十五条第二項「総会の開催  
日時は、会報（『無盡燈』）において  
公示する。」を「総会の開催日時は、  
大谷大学同窓会ホームページ『無盡  
燈』又は会報（『無盡燈』）において  
公示する。」に改正。

三、第十八条「代議員選出は、次  
の基準による。（一）各支部一名、（二）  
各支部の通常会員一〇〇名につき一  
名」を「代議員は、各支部の代表者  
（以下「支部長」という。）一名をこ  
れに当てる。二 都合により支部長  
が総会に出席できない場合は、支部  
長は代理の者を出席させることがで  
きる。この場合、支部長の代理とし  
て出席した者は、代議員とみなし総  
会の議決に加わることができる。」  
に改正。

四、第二十二條第二項「理事会の  
議長には会長が当たり、常務理事  
の議長には理事長が当たる。」を「理  
事会及び常務理事会の議長には理事  
長が当たる。」に改正。

五、第二十七條第三項「事務局に  
関し必要な規程は、常務理事会の議  
を経て会長が定める。」を「事務局  
に関する必要な規程及び内規等は、  
理事会の議を経て会長が決定する。」  
に改正。

六、新たに第二十八條として、「こ  
の会則の改廃は、理事会に諮り、総  
会の議を経て会長が決定する。」を  
加える。

同窓会支部設置規程については、  
一、第八条「支部は、本会会則に  
基づき、各支部一名及び支部会員  
一〇〇名につき一名の基準により代  
議員を選出するものとする。」を「支  
部は、本会会則第十八條の規定に基  
づき、代議員を選出するものとなす  
る。」に改正。

二、第九条「この規程の改正には  
総会の決定を必要とする。」を「こ  
の規程の改廃は、理事会に諮り、総  
会の議を経て会長が決定する。」に  
改正。

会則および支部設置規程ともに、  
二〇一一年五月十二日に一部改正し、  
二〇一二年四月一日から施行する。

## 同窓会費の納入のお願い

本学同窓会は、同窓の皆さまと母校との連繋を図ることを目的に、同窓会総会等の諸会議の開催、支部総会・夏季八十講への補助、ホームカミングデーの開催、新入会員歓迎祝賀会の開催、同窓会報『無盡燈』の発行・送付、ゼミ・クラスの同期会及びクラブのOB・OG会への補助等の事業を展開しています。

このような事業の財政基盤は、同窓の皆さまから納入していただく同窓

窓会費（終身会費と年会費）と寄付金によって賄っています。

現在、同窓会員は約三万五千名ですが、そのうち三分の二が終身会員（一九九二年三月以降の卒業・修了の方は、入会時に終身会費を納入していたいております）、三分の一が通常会員（一九九一年九月以前の卒業・修了生で終身会員以外の方）となっております。

同窓会活動は、母校の更なる発展のため、側面から大学を支え盛り立てて行く意味において、ますますの

## 同窓会報『無盡燈』と同窓会ホームページ『無盡燈』について

二〇一一年五月十二日（木）に開催の同窓会総会において、同窓生の皆さまに早く情報をお届けするためにも、同窓会ホームページ『無盡燈』のさらなる充実発展を図るとともに、一方、逼迫した財政状況に鑑みながら、紙ベースである同窓会報『無盡燈』の発行回数を年二回から年一回へと変更（発行時期は毎年九月を予定）することの理事会決議をご提案申しあげ、慎重な審議の結果ご了承いただきました。

同窓会報『無盡燈』の発行を毎回楽しみにしておられることは存じますが、タイムリーな情報をお届けする点においては、ホーム

ページに勝るものではありません。

二〇一一年九月発行の同窓会報『無盡燈』は従来のスタイルを踏襲いたしますが、今後、「無盡燈編集会議」において、同窓会報『無盡燈』と同窓会ホームページ『無盡燈』の荷負うべき役割を確認しながら、それぞれの充実に向けて検討を進めてまいります。

同窓の皆さまには、何卒ご理解をいただくとともに、同窓会の発展のためにご支援賜りますようお願い申し上げます。

〈同窓会ホームページ『無盡燈』のアドレス

<http://www.muji-to-otani.org/>

## 二〇一〇年度同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」が贈られる

二〇一一年三月十八日（木）、同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式が卒業式の後、講堂において執り行われ、藤島建樹同窓会長から二〇一〇年度表彰団体に表彰状と記念品が贈られました。

この「菩提樹賞」は、同窓会が学術・文化・スポーツ・ボランティア活動などの分野で、顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生または課外活動団体を表彰し、学生生活の充実に資することを願って贈るものです。

二〇一〇年度「菩提樹賞」受賞団体

◎体育会サッカー部  
二〇一〇年の第八十八回関西西学生



表彰後のサッカー部員



藤島建樹同窓会長よりサッカー部を表彰

サッカーリーグ戦Ⅲ部において、一〇勝〇敗で優勝しⅡ部に昇格しました。また、個人成績でも、得点王に佐武瑛久さん（文学部国際文化学科第三学年）、ベストキャプテンに藤原純輝さん（文学部社会学科第四学年）、ベストイレブンに竹下賢司さん（文学部社会学科第四学年）、松原祐樹さん（文学部国際文化学科第四学年）、中西一馬さん（文学部人文情報学科第三学年）の三名、ベストマネージャーに奥村俊さん（文学部真宗学科第四学年）が選ばれました。



## 東日本大震災に関わる救援金の募金活動について「中間報告」

大谷大学同窓会では、一日も早い被災地の復興と被災されました皆さまが安穏な日々に戻されますことを願って、二〇一一年五月十二日(木)開催の同窓会総会において、救援金の募金活動を行うことが決定されました。

まず、三月十八日(水)の卒業式当日に開催予定であった「卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の経費相当額一五〇万円を、五月二十七日(金)に日本赤十字社の義援金窓口に寄付いたしました。

また、募金活動はこの夏開催の「支部総会・夏季八十講」においても行っていくことが、同窓会総会において申し合わされました。

## 東日本大震災に遭遇して

岩手県大船渡市 杉村郁磨

海辺のご門徒さん宅の法要中、長く激しい揺れに襲われ、お参りを中断。三十分後、津波が襲来し目の前の漁港があつという間に波にのまれました。

第一波が引き、海の底が見えたかと思つたら再び高い波が押し寄せ十五メートルの高台を乗り越えてこちらに向かつてきたので、さらに高



津波で被災した本稱寺 (陸前高田市)



真宗大谷派(東本願寺)現地復興支援センター(仙台市)

事に体を震わせながら呆然と見ていただけでした。

その時から水道・電気・電話などの通じない生活を余儀なくされましたが自衛隊、ボランティアをはじめ全国からの物心両面の温かいご支援を頂き勇気づけられ、支えの中で生かされていることを強く感じています。あれから六カ月。未だに行方不明の方や不自由な避難所暮らし、明日が見えず苦しんでいる方々が居られます。福島は災害の現在進行地域です。それでも我々は復興を信じ、前に進むだけです。長い道のりになります。末長くご支援ください。そしてぜひ三陸の地に足を運んでいた

だきたいと願っています。

## 本学教職員と学生がボランティア活動を行う

大谷大学学生・教職員有志によって「東日本災害復興支援バスツアー」が運行され、宮城県石巻市や七ヶ浜で、家屋の泥だしや側溝の清掃活動にあたりました。六月三日(金)・六日(月)・七月一日(金)・四日(月)・八日(金)・十一月(月)の計三便、総勢七十二名の学生・教職員が参加しました。



大谷大学のバスでボランティアに



家屋の泥だし・清掃活動

毎回、金曜日の授業終了後十九時四十分在大学バスを利用して仙台市内にある東本願寺現地復興支援センターへ向けて出発。十二時間かけて翌朝(土)七時三十分に着。午後から活動にあたり、夜は東北別院内の支援センターで宿泊。二日目(日)午前には再び活動し、その日の夕方

に仙台を出発して翌朝(月)に大学に帰還するという日程でした。

この活動は学内有志スタッフが発起人となり、大谷大学と東本願寺現地復興支援センターの全面協力のもとに行われたものです。教職員数名がスタッフとして活動を開始しましたが、学内の多くの方々の支えもあって、結果として大学全体を挙げた活動となりました。学生の参加も積極的で、バスは募集をかけることなく満席となる状況でした。

現地のあまりにも大きな被害と深い傷に、参加者は毎回「何もできなかった」という無力感をもって帰ってくるようになりました。しかし、だからこそ微力な支援活動でもつなぎ続け、現地の人々と共に復興の道を進んでいかなければならないのだという思いを、一同強くしたことです。

## 支部長交代のご紹介

ありがとうございました  
よろしくおねがいいたします

(ボランティアスタッフ・大谷大学准教授 木越 康)

〈北の国支部長〉 酒 井 智

〈長浜支部長〉 (前支部長 近藤義信) 早 寄 得 雄

〈湖東支部長〉 (前支部長 法雲俊邑) 安 倍 彰 雄

(前支部長 禿 憲仁)

## 第十六回 同窓会ホームカミングデーのご案内

同窓会ホームカミングデーが、今年も学園祭（紫明祭）開催期間中の土曜日に開催されます。

第Ⅰ部は、テーマを「集おう!!母校で」と題して、母校・大谷大学で各種イベントを企画しています。

「恩師、旧友との再会」では思い出話に花が咲き、また、新たな同窓生との出会いがあることでしょう。



第Ⅰ部 会長挨拶



第Ⅰ部 恩師との再会

参加型イベントとしては、「ひっぱり大当たり（ふたたび）」を企画しています。参加者には、例年同窓会役員や各支部から寄せられる、全国各地の「銘菓」「銘酒」「名産品」など、景品の当たる企画を予定しています。

第Ⅱ部の懇親会では、「同窓生の活躍紹介」として、畠中光享氏（日本画家・本紙表紙絵執筆者、一九七〇年文学部史学科卒業）に、「絵を描くことと大谷大学の意味」と題する講演をいただきます。その後、畠中氏を囲んでの懇親会を計画しています。

同窓のご友人をお誘い合わせのうえ、母校大谷大学にぜひお越しください。

### 【開催の概要】

【二〇一一年十一月十二日（土）】

【第Ⅰ部】集おう!!母校で

（会費無料）

▼大谷大学 博綜館第一会議室 他

十二時三十分～十六時

■ 恩師、旧友との再会

■ 学園祭模擬店参加

■ 参加型イベント

ひっぱり大当たり（ふたたび）



第Ⅱ部 昨年の柴田真由美さんのフルート演奏



第Ⅱ部 大学歌斉唱

※4枚の写真は第15回（昨年）のホームカミングデーの風景から

【第Ⅱ部】懇親会（会費五〇〇〇円）

▼京都ロイヤルホテル&スパ

■ 畠中光享氏（同窓会員）による講演と懇親会

★「ホームカミングデー」第Ⅰ部を集会場所としてご利用いただき、「ゼミ・クラス同期会」「OB・OG会」を計画されてはいかがでしょうか。希望される場合は、同窓会本部（電話〇七五―四一―八二四）までご連絡ください。

★イベント等の詳細につきましては、同封の「ホームカミングデーご案内」をご覧ください。

二〇一一年度「大谷大学・同窓会全国縦断夏季八十講」ならびに支部総会の開催について

今年度も二〇一一年七月から九月にかけて、「大谷大学・同窓会全国縦断夏季八十講」ならびに「支部総会」を全国六十七会場で開催いたしました。

夏季八十講は、全国に八十支部ある同窓会支部と、大谷大学とが協働して講演会を開催するもので、同窓生・在学生はもとより、一般市民にも公開され、地域社会の文化興隆に大きな役割を果たしています。

特に、「富山支部」「播磨支部」の各支部では、今年度、同窓会が設立母体となるNPO法人「尋源舎」との共催で、「仏教公開セミナー」として広く市民に開かれて実施されました。

### 敬 弔

同窓会発展のためにご尽力を賜りました同窓会能登支部長の篠岡誓弘氏が二〇一一年六月二十三日、また同窓会前夕張支部長の古川義憲氏が二〇一一年六月二十七日にご逝去されました。ここに深甚の謝意を表し、謹んでお悔やみ申しあげます。



# 2011年度 大谷大学・同窓会 全国縦断 夏季八十講

統一テーマ:人間であるということ



- 北陸地区**
  - 富山 8月29日(月) 佐賀枝夏文 教授 人間であるということ 一人人生のものがたり
  - 高岡 8月30日(火) 佐賀枝夏文 教授 人間であるということ 一人人生のものがたり
  - 金沢 8月25日(木) 采華 晃 准教授 人間であるということ
  - 能登 8月24日(水) 采華 晃 准教授 人間であるということ
  - 小松 8月31日(水) 佐賀枝夏文 教授 人間であるということ 一人人生のものがたり
  - 大聖寺 8月19日(金) 門脇 健 教授 問いかける浄土
  - 福井 9月 9日(日) 藤原 明信 教授 人間であるということ
- 近畿地区**
  - 長浜 8月 7日(日) 山野 俊郎 教授 仏教の人間観 一人間への信頼はどこで成り立つか
  - 東 8月10日(水) 佐賀枝夏文 教授 人間であるということ 一人人生のものがたり
  - 湖南 8月28日(日) 藤島建樹 同窓会長 親鸞と中世の人々 一人間であるということ
  - 山城 9月 3日(土) 織田 顕祐 教授 人間であるということ 一仏教から事実を学ぶ
  - 丹波 8月23日(火) 古川 哲安 准教授 人間であるということ 一異文化との出会いや衝突から
  - 大原北・大原市・大原東・大原南 9月 9日(金) 兵藤 一天 教授 発心ということ
  - 神戸・阪神 8月27日(土) 宮下晴輝 教授 人間であるということ 一青年ゴータマの問いに学ぶ
  - 和歌山 8月28日(日) 【支部総会のみ開催】
  - 奈良 8月27日(土) 藤原 明信 教授 人間であるということ
  - 播磨 9月 9日(日) 草野 嗣之 学長 播磨と真宗
- 中国・四国地区**
  - 鳥根 9月 4日(日) 沙加戸 弘 教授 親鸞聖人四徳御伝 一その成立と変遷
  - 岡山 8月25日(木) 水島 晃一 教授 親鸞の今日的意義
  - 福山 9月 3日(土) 沙加戸 弘 教授 宗祖としての親鸞聖人に会う
  - 広島 9月 6日(日) 木越 康 准教授 人間であるということ
  - 山口 9月 3日(土) 佐賀枝夏文 教授 人間であるということ 一人人生のものがたり
  - 四国 9月 5日(日) 沙加戸 弘 教授 生死出づべき道 一まことの「いのち」に出会う
- 九州地区**
  - 福岡 8月29日(月) 宮崎 健司 教授 人間であるということ 一歴史にみる自然と人間
  - 久留米 8月31日(水) 宮崎 健司 教授 人間であるということ 一歴史にみる自然と人間
  - 佐賀 8月27日(土) 水島 晃一 教授 教育可能な限界
  - 大分 8月30日(日) 宮崎 健司 教授 人間であるということ 一歴史にみる自然と人間
  - 北九州 8月26日(金) 水島 晃一 教授 親鸞の今日的意義
  - 長崎 8月29日(月) 一色 順心 教授 私たちの人生と教、行、信、証
  - 熊本 9月 2日(日) 佐賀枝夏文 教授 人間であるということ 一人人生のものがたり
  - 宮崎 8月31日(水) 一色 順心 教授 私たちの人生と教、行、信、証
  - 鹿児島 8月30日(火) 一色 順心 教授 私たちの人生と教、行、信、証
- 北海道地区**
  - 函館 7月23日(土) 加来 雄之 教授 真宗の人間観
  - 小樽 7月25日(月) 加来 雄之 教授 真宗の人間観
  - 札幌・岩見沢・夕張 7月26日(火) 織田 顕祐 教授 人間であるということ 一「至盛の要求」をいどぐちに
  - 砂川 7月 2日(土) 藤元 雅文 講師 人間であるということ 一親鸞における悔悟に学ぶ
  - 室蘭 7月24日(日) 加来 雄之 教授 宗祖親鸞聖人の教えに学ぶ
  - 深川 7月 3日(日) 藤元 雅文 講師 人間であるということ 一親鸞における悔悟に学ぶ
  - 旭川 7月 1日(金) 藤元 雅文 講師 人間であるということ 一親鸞における悔悟に学ぶ
  - 十勝 7月24日(日) 織田 顕祐 教授 人間であるということ 一「至盛の要求」をいどぐちに
  - 網走 7月27日(水) 木村宣彰 名誉教授 人を縁として 一今、親鸞に何を学ぶのか
  - 紋別 7月28日(木) 木村宣彰 名誉教授 人を縁として 一今、親鸞に何を学ぶのか
  - 名寄 7月29日(金) 木村宣彰 名誉教授 人を縁として 一今、親鸞に何を学ぶのか
  - 網走 7月25日(月) 織田 顕祐 教授 人間であるということ 一「至盛の要求」をいどぐちに
- 東北地区**
  - 青森 9月 3日(土) D&T F&Z 教授 瀧世末代の目録 一「往生要集」の視点から
  - 岩手 8月22日(月) 草野 嗣之 学長 日本中世の災害と親鸞
  - 秋田 8月21日(日) 草野 嗣之 学長 日本中世の災害と親鸞
  - 山形 9月 5日(月) D&T F&Z 教授 瀧世末代の目録 一「往生要集」の視点から
- 関東地区**
  - 茨城 8月24日(水) 三木 彰円 准教授 親鸞における「閑思」の課題 一坂東本を通して
  - 栃木 8月25日(木) 三木 彰円 准教授 親鸞における「閑思」の課題 一坂東本を通して
  - 群馬 8月 3日(水) 三木 彰円 准教授 親鸞における「閑思」の課題 一坂東本を通して
  - 埼玉 9月 3日(土) 草野 嗣之 学長 親鸞伝の史実と伝承
  - 千葉 9月 4日(日) 草野 嗣之 学長 親鸞伝の史実と伝承
  - 東京 8月 2日(火) 三木 彰円 准教授 親鸞における「閑思」の課題 一坂東本を通して
  - 神奈川 8月 6日(土) 織田 顕祐 教授 人間であるということ 一愛に二種有り
  - 山梨 8月 7日(日) 織田 顕祐 教授 人間であるということ 一愛に二種有り
- 信越地区**
  - 信濃学会 8月31日(水) 安富信哉 教授 真宗と倫理 一近代の軌跡
  - 三条 9月 6日(火) D&T F&Z 教授 瀧世末代の目録 一「往生要集」の視点から
  - 上越 8月26日(日) 采華 晃 准教授 人間であるということ
- 東海地区**
  - 静岡 8月30日(火) 富岡 量秀 講師 とともに生き ともに育ちあう
  - 三為会 8月30日(火) 安富 信哉 教授 真宗と倫理 一近代の軌跡
  - 尾張学会 9月 9日(日) 水島 晃一 教授 自己否定の教学 一同朋会運動の精神
  - 三重 8月25日(木) 一茶 真 教授 人間であるということ 一「つながり」の発見
  - 大垣 8月20日(土) 門脇 健 教授 問いかける浄土
  - 岐阜 9月10日(土) 水島 晃一 教授 真の独立者
  - 郡上 8月24日(水) 一茶 真 教授 人間であるということ 一「つながり」の発見
  - 飛騨 8月 2日(火) 水島 晃一 教授 親鸞の自覚道

※「仏教公開セミナー」として、NPO法人「尋源舎」(大谷大学と同窓会の協力を得て仏教公開を行う特定非営利活動法人)と共催で行います。  
●お問い合わせ:大谷大学同窓会本部 〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL 075-411-8124



NPO法人「尋源舎」リーフレット

「尋源舎」では、活動や事業をご支援いただける賛助会員(年会費一口三千元)を募集しております。お問い合わせは、大谷大学同窓会本部(TEL・〇七五-四一-一八二四)まで。

## NPO法人「尋源舎」について

NPO法人「尋源舎」は、同窓会が設立母体となって、二〇〇六年十二月に設立した、仏教の公開を目的とした特定非営利活動法人です。

# 母校だより

大谷学会「春季公開講演会」を開催

二〇一一年六月九日(木)、大谷学会「春季公開講演会」が開催されました。最初に大谷大学の兵藤一夫教授が、「分別と戯論」という講題で講演されました。

先生はまず、「どのような苦も自分で背負うしかない。しかしどのように背負っていけばよいのか」「生きることに生ずる苦しみからの解放(解脱)をどのように目ざすのか」という問いに答えることが仏教の基本的な課題であるとし、今回は、苦しみの根本原因である認識のあり方そのものを、「分別」とそれを生ずる「戯論」であるのとらえ直した龍樹に学びたいとされました。ことばが意識化された「分別」に対し、「戯論」はことばが意識されない言語活動であり、自我意識を根底とした「言語の網」である指摘されました。私たちは、その「戯論」というフィルターで、あるがままの現実世界を変質させて認識し、対象を實體化する「分別」の世界に生きることになる。それが苦しみを生み出す根本構造であるとも指摘されま



兵藤一夫教授



齋藤環氏

次に、精神科医の齋藤環氏が、「換喩・キャラクター・日本人」という講題で講演されました。

齋藤氏は、精神分析の立場から現代の日本文化を読み解いてくださっています。今回は、「古事記」の神々の特性にまでさかのぼり、日本人の思考の本質を「換喩」という視点から問い直していただきました。

日本人のリアリティーの位相に深くかわるは隠喩(メタファー)ではなく、隣接性を重視する換喩(メトニミー)ではないかという問題提起から齋藤氏の講演は始まりました。

さらに、この度の災害をうけて『放射能』とケガレ』というテーマで、なぜ「フクシマ」ということばに対する差別が起こるのかという問題をとりあげ、その正体を「換喩的感染」と指摘されました。このような日本人の言語的特性を、ケガレと

いう思想の起源であるイザナミとイザナギの神話までさかのぼって「古事記」に見出せる換喩性を検証され、この換喩的論理空間に現代の日本人もいまだ生きているのであると解説されました。

また、齋藤氏は、現代の日本人のキャラクター形成の本質についてもこの換喩的論理空間が深くかわっている」と説明されました。

## 水島教授が博士(文学)の学位を取得

二〇一一年三月三十一日(木)水島見一教授が博士(文学)の学位を取得しました。学位論文は『近・現代真宗教学史研究序説―真宗大谷派における改革運動の軌跡―』です。



水島見一教授

## 課程博士の学位が授与される

二〇一一年三月十八日(金)、博士後期課程修了者七名に大谷大学から博士(文学)の学位が授与されました。学位取得者は、青木玲さん(真宗学)、マイケル・コンウェイさん(真宗学)、楠宏生さん(仏教学)、宮本浩尊さん(仏教学)、大平敏之さん(仏



目片祥子さん



大平敏之さん



(左より)マイケル・コンウェイさん、楠宏生さん、SUCHADA SRISETHAWORAKULさん、宮本浩尊さん、青木玲さん

教文化)、目片祥子さん(国際文化)、SUCHADA SRISETHAWORAKULさん(仏教学)の各氏です。



## 母校の動き (2011年4月～2011年8月)

2011年

4/ 1(金) 【学年始・宗祖誕生日】

【入学式】

4/ 1(金)～5/14(土)

【博物館 2011年度春季企画展】

大谷大学のあゆみ「歴代学長の肖像—明治・大正・昭和—」

4/ 6(水) 【前期授業開始】

4/ 8(金) 【釈尊降誕日】

4/ 9(土) 【若葉祭】

4/17(日)・5/15(日) 【御遠忌テーマ公開講演会・シンポジウム】

「人間といういのちの相(すがた)—生老病死—」

一茶 真 大谷大学教授・門脇 健 大谷大学教授

4/28(木) 【宗祖御命日勤行・講話】

「重要文化財『判比量論』断簡の伝来」

宮崎 健司 大谷大学教授

5/ 9(月)～5/10(火) 【御遠忌讃仰講演会】

これからの仏教を考える日「今を生きる親鸞」

5/12(木) 【同窓会総会】

5/28(土) 【宗祖御誕生会】

「今あらためて親鸞思想を尋ねる」

竹内 整一 鎌倉女子大学教授

東京大学名誉教授

6/ 3(金) 【真宗連合学会第58回大会記念講演】

「親鸞聖人の鎌倉滞在と一切経校合をめぐる」

津田 徹英 東京文化財研究所

文化財アーカイブズ研究室長

「佛土と佛道—『教行信証』の題号義—」

池田 勇諦 同朋大学名誉教授

6/ 3(金)～8/ 7(日)

【博物館 2011年度夏季企画展】

三朝七高僧と真宗聖教

6/ 9(木) 【大谷学会春季公開講演会】

「分別(ぶんべつ)と戯論 兵藤 一夫 大谷大学教授

「換喩・キャラクター・日本人」

斎藤 環 医師(精神科医)

6/18(土) 【オープンキャンパス】

6/28(火) 【宗祖御命日勤行・講話】

「教説と信仰—仏伝中のいくつかのエピソードから考えること—」

宮下 晴輝 大谷大学教授

【西洋哲学倫理学春季公開講演会】

「ジェームズの純粹経験の哲学」

伊藤 邦武 京都大学大学院文学研究科教授

6/29(水) 【教育後援会評議員会】

7/ 5(火) 【文藝学会公開講演会】

「『列仙全伝』の図像を読む」

佐藤 義寛 大谷大学教授

「小説の中の偶然—文学性・虚構性・偶然性—」

真銅 正宏 同志社大学教授

7/ 6(水) 【2011年度第1回 人権問題を共に考えよう 全学学習会】

7/ 7(木) 【宗教学会第30回「大拙忌」記念公開講演会】

「それでも人生にイエスと言う」

山田 邦男 大阪府立大学名誉教授

7/ 8(金) 【国際仏教研究「公開講演会」】

「護法論としての仏教史：明治時代における釈迦牟尼仏の語り直し」

マイカ・アワーバック教授

7/16(土) 【教育後援会北海道地区父母兄弟懇談会(札幌会場)】

7/17(日) 【教育後援会北海道地区父母兄弟懇談会(旭川会場)】

7/13(水)～27(水) 【安居開講】

本講『教行信証』成立の背景

—顕浄土方便化身土文類私考—

名畑 崇 大谷大学名誉教授

次講 本願念佛の開顕

—『選択本願念佛集』講讃—

藤嶽 明信 大谷大学教授

7/18(月) 【オープンキャンパス】

7/21(木)～22(金) 【暁天講座】

21(木) 「阿弥陀仏の本願のゆえ」 藤嶽 明信 大谷大学教授

22(金) 「法然と親鸞—悠久を今に—」

名畑 崇 大谷大学名誉教授

7/28(木) 【宗祖御命日勤行】

8/ 2(火)～9/16(金) 夏期休暇

8/ 6(土)～8/ 7(日) オープンキャンパス

### 二〇一一年度 春季課外活動の結果

#### 【団体成績】

##### ●卓球部(男子)

・関西学生卓球春季リーグ戦

IV部Aブロック三位

##### ●硬式野球部

・京滋大学野球連盟春季リーグ戦

I部五位

##### ●サッカー部

・第四十回関西学生サッカー選手権大会

三回戦敗退

・第八十九回関西学生サッカーリーグ前期

II部Bブロック七位

##### ●剣道部

・西日本学生剣道大会

初戦敗退

・第五十三回京滋学生剣道大会

初戦敗退

●バスケットボール部

・春季京都学生バスケットボール選手権大会(男子)

予選敗退

・春季京都学生バスケットボール選手権大会(女子)

予選敗退

・春季関西女子学生バスケットボール大会

一回戦敗退

・春季関西女子学生バスケットボール大会

一回戦敗退

・春季関西女子学生バスケットボール大会

●ソフトテニス部

・京都学生ソフトテニス大学対抗予選リーグ敗退

●バレーボール部

・関西大学バレーボール春季リーグ戦(男子) VI部三位

●バドミントン部

・関西学生バドミントン春季リーグ戦(男子) V部六位

・関西学生バドミントン春季リーグ戦(女子) V部Aブロック優勝

【個人成績】

●卓球部

・関西学生卓球新人大会(個人戦) 入賞者なし

・関西学生卓球選手権大会(個人戦) 入賞者なし

●空手道部

・第四十五回関西学生空手道選手権大会(男子一般) 七十五キロ級

・ベスト十六 高野 隼

・(文学部哲学科 第二学年) ●陸上競技部

・(第八十八回関西学生陸上競技対抗選手権大会)

・個人戦 入賞者なし

・(第七十五回京都学生陸上競技選手権大会) 女子円盤投げ 五位

・中村 亜稀穂 (文学部教育・心理学科 第二学年)

●剣道部

・(第五十九回関西学生剣道選手権大会) 個人戦 入賞者なし

・(第四十一回関西女子学生剣道選手権大会)

・個人戦 入賞者なし

・(第五十三回京滋学生剣道大会) 個人戦 入賞者なし

・(第三十八回全国学生岩岳スキー大会) 女子個人演技新人選 七位入賞

・(京都学生ソフトテニス選手権大会) ソフトテニス部

・個人戦 入賞者なし

・(関西学生バドミントン選手権大会)

・女子ダブルスBクラス三位

・三田 幸奈 (文学部人文情報学科 第四学年)

・植谷 美月 (文学部哲学科 第二学年)

・女子シングルスBクラス三位 植谷 美月 (文学部哲学科 第二学年)

●跆拳道部

・(第六回青龍会オープンテコンドー選手権大会)

・個人戦 入賞者なし

・(第九回JAPANオープン国際テコンドー選手権大会) 個人戦 入賞者なし

佐々木令信先生を偲んで



佐々木令信先生は、二〇一一年四月六日、六十八歳でご逝去された。ご退任ののち、わずか三年の、誠に

早いご逝去であった。先生は一九四二年ハルビンにお生まれになった。文学部仏教学科を卒業後、大学院仏教文化専攻に進まれ、以後、日本仏教史の泰斗藤島達朗先生に師事された。一九七四年に助手、一九七九年に専任講師、一九八五年に助教授、一九九四年には教授と、三十年にわたり教鞭をとられた。

先生のご研究は、平安時代の仏教史が中心で、神泉苑の祈雨儀礼、奄然など入宋僧の問題、貴族の仏教信仰など仏教信仰をめぐる問題に一貫して取り組まれた。黒田俊雄先生とのご縁で寺院史や国家と仏教思想の関係にも関心を寄せられた。平安貴族の日記『小右記』『御堂閔白記』『中右記』などの精読を通し、人名・寺院名の索引やご研究を次々と公にされ、とりわけご編著『中右記人名索引』は大きなお仕事であらう。

先生のご交友は広く、授業でも、その人脈ならではのものがあつた。とりわけ短期大学部文化学科の授業では、著名な方の出講・講演、伝統芸能・伝統工芸の技術保持者によるリレー講義

など、学生に興味深い授業を次々と企画された。

学生の指導にもご熱心で、授業はもちろん、史跡踏査や研究旅行にも力を入れた。学生と寝食を共にする研究旅行では、対馬など遠方へもたびたび赴かれている。歴史の現場へ行くことの大切を思われてのことであらう。

その指導は授業のみでなく、生活指導にも及び、助手以前に下鴨学寮の寮監を、教員としても知真学寮の学寮長をつとめられた。下鴨学寮寮監時代には学内のソフトボール大会で寮生を引っ張って、自らも練習に汗を流され、先生主催のソフトボール大会もあつたと聞きする。また野球部顧問をも長年おつとめになった。

一方、大学運営の面でも尽力され、学生部長・短期大学部長等の要職を歴任された。二〇〇一年の近代化百周年では、近代化百周年記念事業推進室長を兼務され、記念事業推進に奔走されたことが思い起こされる。二〇〇二年、突然、ご病気とられたが、奇跡的に回復され、以前同様さまざまな事業にあたられた。二〇〇三年からは学外の大学コンソーシアム京都の事業にも参画され、主導的役割を果たされた。

二〇〇六年に再度ご病気とられ、ご入院加療中のご退職で、その後のご快復を祈念する中での訃報であつた。先生より頂いた学恩に深謝するとともに、謹んで哀悼の意を表する次第である。

大谷大学教授 宮崎 健司



人 事

(二〇一一年三月三十一日)  
(二〇一一年七月三十一日)

部局長の交代

〔学生部長〕

古川 哲史  
(前学生部長 木越 康)

二〇一一年四月一日付

館長などの交代

〔幼稚園長〕

藤田 昭彦(再任)

〔真宗総合研究所主事〕

采翠 晃

(前真宗総合研究所主事 山本 和彦)

〔学寮長〕

富岡 量秀

(前学寮長 山野 俊郎)

二〇一一年四月一日付(各通)

退職・解任

\*定年退職

〔教育職員〕

ベーテモニカ A. (教授・文学部)

\*契約期間満了による退職

〔教育職員〕

コンウエイ マイケル J. (任期制助教)

助教)

竹花 洋佑(任期制助教)

戸次 顕彰(任期制助教)

朴 珣英(任期制助教)

林 千宏(任期制助教)

松金 直美(任期制助教)

箕浦 尚美(任期制助教)

〔事務系嘱託〕

荒木さとみ(企画・入試部)

大橋 美香(総務部)

櫻井 真実(教育研究支援部)

永井 詞子(教育研究支援部)

長野 美穂(企画・入試部)

村上 力(企画・入試部)

〔寮監〕

北條いづみ(自灯学寮)

目崎 明弘(貫練学寮)

〔校医〕

宇佐 晋一

〔学生募集アドバイザー〕

佐々木かなこ

二〇一一年三月三十一日付(各通)

\*依願退職

〔事務職員〕

竹越 義明(教育研究支援部)

二〇一一年三月三十一日付

禿 義裕(学生支援部)

二〇一一年五月三十一日付

岡田 文雄(企画・入試部)

二〇一一年六月三十日付

新規採用

〔教育職員〕

ハウザープレストン L. (教授・文学部)

福島 栄寿(准教授・文学部)

ダシユシヨバラニ(講師・文学部)

新田 智通(講師・文学部)

三浦誉史加(講師・文学部)

上野 牧生(助教・短期大学部)

大草 輝政(任期制助教)

岡部真由美(任期制助教)

許 秀美(任期制助教)

工藤 克洋(任期制助教)

根来 麻子(任期制助教)

松下 俊英(任期制助教)

山高 秀介(任期制助教)

渡部 智也(任期制助教)

〔事務職員〕

荒木さとみ(学生支援部)

村上 力(学生支援部)

〔事務系嘱託〕

児玉 佳(企画・入試部)

小林 千紗(教育研究支援部)

野村 壮典(企画・入試部)

福村 愛(学生支援部)

松浦 健(教育研究支援部)

松尾 奏子(企画・入試部)

〔寮監〕

天山 信楽(貫練学寮)

亀山 幸恵(自灯学寮)

〔校医〕

市来 和政

〔教職アドバイザー〕

馬場 信行

二〇一一年四月一日付(各通)

昇格

〔教授〕

李 青(文学部)

〔准教授〕

太田 智子(短期大学部)

鈴木 寿志(文学部)

廣川 智貴(文学部)

箕浦 暁雄(文学部)

〔講師〕

西本 祐攝(短期大学部)

二〇一一年四月一日付(各通)

二〇一一年 学科主任一覧

〔文学部〕

真宗学科 一 栄 真

仏教学科 ロバート F. ローズ

哲学科 藤 枝 真

社会学科 山 下 憲 昭

歴史学科 齋 藤 望

文学科 乾 源 俊

国際文化学科 鈴 木 寿 志

人文情報学科 池 田 佳 和

教育・心理学科 岩 渕 信 明

〔短期大学部〕

仏教科 山 野 俊 郎

幼児教育保育科 太 田 智 子

大谷大学教員の出版物紹介

◎『上野徳太郎と向井流東京連絡会  
—日本泳法向井流の伝承と関わっ  
て—』

中森一郎 監修

文栄堂書店 刊

(二〇一一年・三) 一六九頁



◎『ジョナサン・アール著『地図でみ  
るアフリカ系アメリカ人の歴史』』

古川哲史／朴 珣英 訳

明石書店 刊

(二〇一一年・三) 一四四頁



◎『フロイト全集』第二二巻

門脇 健／須藤訓任 分担翻訳

岩波書店 刊

(二〇一一年・五) 三九〇頁

◎『政治・権力・公共性』

井上 俊／伊藤公雄 編集

渡辺啓真 分担執筆

世界思想社 刊

(二〇一一年・三) 二八〇頁



◎『シャーマニズムの諸相』

嶋田義仁 編集

門脇 健 分担執筆

勉誠出版 刊

(二〇一一年・五) 二一六頁



◎『岩波講座哲学一二 性／愛の哲  
学』

池上哲司 分担執筆

岩波書店 刊

(二〇一一年・五) 三〇五頁

2011(平成23)年度 大谷大学博物館のご案内

●秋季企画展 初公開「大谷大学博物館所蔵の古瓦 一関連寺院の資料と共に一」

会 期 2011年9月6日(火)～9月24日(土)  
休 館 日 日曜日・月曜日  
※9月23日(金・祝)は開館  
開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

●同時開催 実習生展

●特別展 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念「親鸞 一真宗本廟の歴史一」

会 期 2011年10月11日(火)～11月28日(月)  
休 館 日 日曜日・月曜日、11月5日(土)  
※11月3日(木・祝)・23日(水・祝)・27日(日)・28日(月)は開館  
開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)  
※金曜日のみ10:00～19:00(入館は18:30まで)

●冬季企画展 京都を学ぶ(仮)

会 期 2011年12月13日(火)～2012年2月18日(土)  
休 館 日 日曜日・月曜日、12月25日(日)～1月6日(金)、2月7日(火)～2月9日(木)、2月11日(土・祝)  
※12月23日(金・祝)は開館  
開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

大谷大学博物館 〒603-8143 京都市北区小山上総町 Tel.075-411-8483  
http://www.otani.ac.jp/kyo\_kikan/museum/



## 2011年度後期 大谷大学生涯学習講座のご案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

(講師の肩書は2011年4月現在のものです)

### 開放セミナーのご案内

1	テーマ	『インド』
	講師	山本和彦(大谷大学准教授)
	開講日	10月26日・11月2日・16日・30日・12月7日・21日(水)
	時間	18:00～19:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	6,000円(税込)
申込締切	10月19日(水)当日消印有効	
2	テーマ	娯楽の仏法 一古浄瑠璃『しんらんき』登場一
	講師	沙加戸 弘(大谷大学教授)
	開講日	10月6日・13日・20日・27日・11月10日・17日(木)
	時間	18:00～19:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	6,000円(税込)
申込締切	9月29日(木)当日消印有効	
3	テーマ	巨大地震と大津波
	講師	鈴木寿志(大谷大学准教授)
	開講日	2月18日・25日・3月3日・10日・17日(土)
	時間	14:00～15:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	5,000円(税込)
申込締切	2月10日(金)当日消印有効	

### 紫明講座のご案内

1	テーマ	真宗大谷派声明と音声
	講師	菅生考純(大谷大学非常勤講師)
	開講日	10月21日・11月4日・18日(金)
	時間	18:00～19:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	3,000円(税込)
申込締切	10月14日(金)当日消印有効	
2	テーマ	「民族」って何だろう。一先住民族からの学ぶこと一
	講師	坂口 清(大谷大学非常勤講師)
	開講日	12月1日・8日・15日(木)
	時間	18:00～19:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	3,000円(税込)
申込締切	11月24日(木)当日消印有効	
3	テーマ	あらためて「きつねの恩がえし」一説経『しのだづま』の世界一
	講師	沙加戸 弘(大谷大学教授)
	開講日	2012年2月2日・16日・23日(木)
	時間	18:00～19:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	3,000円(税込)
申込締切	1月26日(木)当日消印有効	
4	テーマ	善き人生のこわれやすさーアリストテレスの悲劇論からー
	講師	朴 一功(大谷大学教授)
	開講日	2012年2月10日・17日・24日(金)
	時間	15:00～16:30
	定員	100名
	会場	メディアホール
	受講料	3,000円(税込)
申込締切	2月3日(金)当日消印有効	

#### 【申し込み方法】

講座案内を請求される場合には、ハガキ、メールフォームいずれかにて、①氏名・フリガナ、②郵便番号・住所、③電話番号を明記してください。また講座を申し込みの場合は、上記①～③に④講座名を記入の上、下記までお申し込みください。

#### 【申し込み/問い合わせ先】

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学教育研究支援課  
TEL.075-411-8161 (直通) FAX.075-411-8162 E-mail: semi@sec.otani.ac.jp

\* 講座名等変更になる可能性があります。各講座の詳細については、教育研究支援課までお問い合わせください。

### ミュージアムグッズを販売中

大谷大学博物館が所蔵している貴重な資料をデザインした、各種グッズを販売しています。各種行事等にご利用ください。地方発送等も承ります(送料別)。お問い合わせ・お申し込みは同博物館(TEL・〇七五・四一八四八三)まで。

#### ◆「トートバッグ」



四〇センチ×三〇センチ×八センチ  
(中国古印をデザイン)  
一、五〇〇円(税込)

#### ◆「クリアファイル」



五枚一組特製封筒付き(中国雲崗石窟・天龍山石窟の拓本からデザイン)  
五〇〇円(税込)

#### ◆「ミニ便箋」



赤・青 各色(貝葉資料を包装のシルクよりデザイン)  
三五〇円(税込)

#### ◆「オリジナル手ぬぐい」



(中国古印をモチーフにデザイン)  
八五〇円(税込)

## 大谷大学オリジナルグッズを販売中

オリジナルグッズの新商品となる「ブレス念珠」を製作しました。セブンイレブン大谷大学店にて販売しております。お電話でのご注文も承ります（送料別）。ご注文は、セブンイレブン大谷大学店（TEL.075-451-0900）まで。

### ◆本水晶製



桐箱入りの、高級感あるブレス念珠です。親玉には、大学のロゴマークが彫り込まれています。

2,000円（税込）

カラー（2種類）

- エンジ（瑪瑙（めのう））
- 黒（オニキス）

### ◆プラスチック製



カラフルで涼しげなブレス念珠です。親玉には、大学のロゴマークがプリントされています。

500円（税込）

カラー（7種類）

- 青 ■ 緑 ■ 黄 ■ 紫 ■ 茶 ■ ピンク
- エンジ（大学特注カラー）

### 教育振興資金（募金）への御礼

大谷大学・大谷大学短期大学部では、教育研究環境の一層の充実を図るために「教育振興資金局」を設置し、募金活動を行っています。このたびはご協力いただき誠にありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

また、大谷大学は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けていますので、寄付金に対しては税法上の減免措置が受けられます。

今後も引き続き、募金のお申し込み受け付けを行っておりますので、ご支援賜われますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

二〇一一年二月一日から二〇一一年七月三十一日までの間にご寄付をいただきました方々のご芳名は、次のとおりです。厚く御礼申し上げます。

◆件数 三三件

◆寄付金総額 四、四六〇、〇〇〇円

「教育振興資金寄付者（敬称略）」

- 池田 誠（大阪府） 太田 秀行（愛知県）
- 岡野 伸明（京都府） 加藤 博文（愛知県）
- 北澤 盛輝（奈良県） 桑原 英世（栃木県）
- 高源 彰（北海道） 小林 正夫（茨城県）

- 近藤 昌丸（兵庫県） 園原 信行（大阪府）
- 武田 暁（大阪府） 田中 明（滋賀県）
- 二宮 建（鳥取県） 野瀬 繁和（滋賀県）
- 橋川 昌治（京都府） 橋本 一哉（兵庫県）
- 長谷岡英信（京都府） 日野 康宣（愛知県）
- 堀川 禎暢（京都府） 松本 浩三（京都府）
- 観山 法之（長崎県） 村上 了圓（兵庫県）
- 森 真理子（三重県） 山岡 政明（岡山県）
- 山田 展夫（兵庫県） 脇本ゆかり（愛知県）
- 匿名（2名）

（有）石間企画事務所（東京都）  
NPO法人 尋源舎（京都府）  
（株）フラットエージェンシー（京都府）

願成寺「泉 敬止」（北海道）  
浄玄寺「櫻井 之貫」（愛知県）

※ご寄付につきましては随時受け付けています。

【申し込み／問い合わせ先】

京都市北区小山上総町

大谷大学校友センター内

教育振興資金事務局

TEL 〇七五―四二―八二二四







## 同期会、ゼミ・クラス会、 OB・OG会

### 恩師を囲んで

同期会、ゼミ・クラス会、OB・OG会を開催企画される場合は、1ヶ月前に同窓会本部へご連絡ください。連絡用リスト(名簿)・宛名シールの提供ならびに通信費等の一部として開催助成金(1万円)を補助させていただきます。また、同窓会ホームページ「無盡燈」へも開催の告知および報告を掲載いたします。

同期会、ゼミ・クラス会、OB・OG会等の開催をお世話いただく幹事さんへ

2008年度卒業 安井ゼミ会 (2011.1.30)

この度は、私達の会合への御協力ありがとうございます。お蔭様で、1年ぶりに集り、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



貫練学寮 開寮三十周年 記念OB会 (2011.2.11)

貫練大集合!! みんな一緒に良いものですね。しかしよく集りました。しゃべりまくりのあつという間の一日でした。次は○年後?!



男声合唱団OB会 (コールリンデンクラブ) 総会・懇親会 (2011.2.12)

今年も定期演奏会を機に集りました。共に歌い、聴き、響き合える友がいることを嬉しく思います。現役諸君の健闘を念じます!









三桐ゼミ同窓会 (2011.4.30)  
三桐先生の喜寿のお祝いに全国より同窓生が集まり、思い出話に花が咲きました。会場はゼミ同窓の田村氏が三代目の西陣老舗料亭「萬重」でした。



第35回 浄眼洞一夜研修会 (山田亮賢先生門下生の会) (2011.5.21 ~ 22)  
今年は北陸の温泉に集合しました。研修のテーマは「真実信心の業識」、人間の永遠不滅の課題です。研修後の絶叫大会も実施し、感慨深い一泊二日の研修となりました。



2005年卒業 高井ゼミ同期会 (2011.5.2)  
急遽決定したため、高井先生と卒業生5名という少人数になってしまいましたが、結婚報告あり、仕事の愚痴を溢したり、先生の近況を伺ったりと非常に楽しい一夜となりました。今度は、大勢で集まりたいので連絡できなかった方からのご連絡お待ちしております。

「大谷大学33 (昭和33年入学) 同期会」 in 山陰 (2011.6.7 ~ 9)  
6月7日~9日、好天の中、山陰の名所旧跡を見学。遠方の学友夫婦の参加もあり、賑やかに旧交を温め、明年の再会を期した。



松江城登閣記念  
平成23年 6月8日NO.  
小泉八雲が愛した城下町ようこそ松江へ

NPO法人尋源舎企画 第2回海外研修旅行  
藤島建樹同窓会会長と巡る  
「遣唐使ゆかりの  
天台山・普陀山・寧波」



寧波の天封塔

2012年  
3月2日(金)~6日(火)  
関西空港集合・解散

旅行代金 **¥150,000程度**  
(他に燃油サーチャージ、空港税が必要です。)

- ①午前関空より空路上海へ 着後専用車で寧波へ (寧波泊)
- ②寧波から高速船で舟山列島へ 着後中国4大仏教名山のひとつ普陀山見学 (普陀山泊)
- ③普陀山から寧波へ 寧波で天童寺・阿育王寺を見学後、天台宗発祥の地天台山へ (天台山泊)
- ④天台宗の総本山、国清寺見学 天台山見学後上海へ (上海泊)
- ⑤午前上海空港から帰国 関西空港通関後解散

※尋源舎は大谷大学同窓会が設立母体となって活動しているNPO法人です。  
※尋源舎会員は旅行代金が¥3,000割引かれます。  
※詳しくは下記にお問い合わせください。

旅行申込み・お問合せ：  
国土交通大臣登録一般旅行業第1516号 日本旅行業協会会員

**(株)キャラバンツアー大阪支店**  
〒550-0005 大阪市西区西本町1-2-19 千代田ビル5F  
TEL:06-6532-2202 FAX:06-6532-2893 担当：柏井





2011年卒業 大学院飯田ゼミ同期会 (2011.6.15)  
祝賀会が中止になり、名残惜しい気持ちから記念すべき第一期生の初めての同期会を開催しました。当日は、恩師を囲み大学での学びの思い出に花が咲き、つついとお酒がすすんでしまいました。



幼児教育科 14期生同窓会 (2011.6.25)  
3人の先生が参加して下さった祇園「鳥居本」での同窓会は、大変盛り上がり、先の大学散策では日下部先生も来て下さり大変楽しい一日でした。



1981年度入学 I-G同窓会 (2011.7.23)  
30年前のI-G同窓会。懐かしい、心暖まる時間が過ごせました。集ってくれたメンバー「ありがとう」



貴練学寮 第2期生同期会 (2011.7.7)  
昨年の発会式に向けて奔走した寮友の思いがけない追弔法会をお勤めし、彼からのプレゼントを大切に育んでいこうと誓い合いました。

2012 玄奘三蔵の足跡を辿る  
**ウズベキスタン8日間の旅**

第1回 5月11日～18日  
第2回 8月31日～9月7日

中央アジアの文明の十字路であったサマルカンド・  
仏教文化が栄えたテルメズや大唐西域記にある鉄門  
を訪れる旅です。詳細はお問い合わせください。

国土交通大臣登録旅行業第1516号

**(株)キャラバンツアー大阪支店**

〒550-0005 大阪市西区西本町1-2-19 千代田ビル5F  
TEL:06-6532-2202 FAX:06-6532-2893 担当：柏井

限定15名の  
少人数の旅!

真宗大谷派成真寺 土屋昭之著  
出版 法蔵館

きわめて  
やすらかな  
きよらかな  
しんきょう  
の世界がある

世間のモノサシに道理のモノサシを添えたところに  
**老いよドンと来い!**

第10回 早寄得雄  
**法語書展(最終回)**  
とき 2012年5月21日(月)  
～26日(土)  
午前11時～午後6時まで  
オープニング祝賀会(会員制)  
5月21日(月)午後6時～8時  
すぐ近く三笠会館で  
ところ 東京都中央区銀座  
5-5-12  
文藝春秋別館  
B1 ザ・セラ  
後援 大谷大学同窓会本部・長浜支部  
連絡先 滋賀県長浜市早寄町1182 要誓寺  
早寄得雄  
Tel & Fax 0749-72-2531  
090-6973-2512(けいたい)



同期会、ゼミ・クラス会、OB・OG会開催一覧

開催日	会 合 名
2011.1.30 (日)	2008年度卒業 安井ゼミ会
2011.2.11 (金)	貫練学寮 開寮三十周年 記念OB会
2011.2.12 (土)	男声合唱団OB会 (コールリンデンクラブ) 総会・懇親会
2011.2.18 (金)	2005年入学 山田人間学同期会
2011.2.19 (土)	2008年度 東館ゼミ卒業生同窓会
2011.2.26 (土)	1985年度 日本仏教史学卒業生同窓会
2011.3. 5 (土)	2009年度卒業 短期仏教科 三木ゼミ同窓会
2011.4.16 (土)	第13期 (1980年卒業) 幼児教育科 同期会
2011.4.30 (土)	三桐ゼミ同窓会
2011.5. 2 (月)	2005年卒業 高井ゼミ同期会
2011.5.21 (土)	第35回 浄眼洞一夜研修会 (山田亮賢先生門下生の会) ～ 22 (日)
2011.6. 7 (火)	「大谷大学33 (昭和33年入学) 同期会」 in 山陰 ～ 9 (木)
2011.6.15 (水)	2011年卒業 大学院飯田ゼミ同期会
2011.6.25 (土)	幼児教育科 14期生同窓会
2011.7. 7 (木)	貫練学寮 第2期生同期会
2011.7.23 (土)	1981年度入学 1-G同窓会
2011.7.30 (土)	佐々木令信先生を偲ぶ同期の会
2011.7.30 (土)	第36回大谷大学バスケットボール部OB・OG会
2011.7.30 (土)	浄影会
2011.8.14 (日)	渡辺ゼミ昭和60年卒業生同窓会



佐々木令信先生を偲ぶ同期の会 (2011.7.30)  
懇親会・大学見学と、のべ11人が参加しました。佐々木先生や学生の頃の思い出を語り合い、偲びました。



第36回大谷大学バスケットボール部OB・OG会 (2011.7.30)

7/30 (土) に第36回となるOB・OG会を開催しました。懇親会では、片岡友子会長の呼びかけで、東日本大震災の復興支援として募金を行い、OB・OGから合計25,000円が寄せられました。



浄影会 (2011.7.30)

今年もゲストを1名招いての開催でした。ゼミでのご指導だけでなく、学舎の環境整備にご尽力頂いたお話を初めてお聞きし、改めて先生への感謝の念を強くした同窓会になりました。来年は、8月25日 (土曜日) に「喜寿のお祝いの会」として開催します。

一緒にうれしい  
**On Your Side**

みなさまのすぐとりに  
京都中央信用金庫があります。

**京都中央信用金庫**  
本店 / 京都市下京区四条通鳥丸西入ル  
☎ 075 (223) 2525  
FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)  
www.chushin.co.jp

渡辺ゼミ昭和60年卒業生同窓会  
(2011.8.14)

今年も例年の同窓会を開くことができました。参加者5名といささかさびしくはありましたが、旧交をあたためることができました。



# 通信

## 「哲学から美術へ」

光島 貴之

(一九八〇年文学部・哲学科卒業)

卒業後、一九八二年から北大路堀川で鍼灸院を開業しています。

京都府立盲学校で鍼灸の免許取得後、本学入学。小学部から十六年間の盲学校生活は、今から思い直しても閉ざされた世界そのものだった。点字受験で開かれた大学生活は、見える人の世界に投げ出され、多くの視線にさらされる経験でもあった。一対一で話しているときはいいのだが、大勢で周りの雰囲気を取り取りながら、話に加わっていくのが苦手だった。

こうしたカルチャーショックを乗り越えていくきっかけになったこともたくさんあった。入学式当日に偶然隣に座った



友人とは、今でも時々話す仲だ。点訳サークルの人々には、語学教科書や、教育実習の点訳で協力してもらい、旅行など様々な楽しみも共にした。

受験時の目的は、人との繋がりの中で見えない自分をどう位置づけるのかを実存主義哲学の中で明らかにすることだった。卒論は、キェルケゴールの『死にいたる病』を取りあげ、「単独者」をテーマにした。故武田武麿先生からのメッセージは、「見える人の真似をしてはいけない」というものだったが、見える人の中に入って行きたいということと見える人の真似ではいけないというのは、今も折り合いを付けられない課題の一つだ。

鍼灸院を開業して十年ほど過ぎた頃から、美術に興味を持ち、九十五年からは、ラインテープとカッティングシートを使って絵を描き始めた。美術への関心も、やっぱり見える人の世界を知りたい、見えない多くの世界を伝えたいという表われだと思ふ。

十月二十二日まで北大路千本にある「ツラッティ千本」という人権資料館で展覧会をしています。(日・月休館)。お近くにお立ち寄りのときには、ぜひご覧いただければ幸いです。

(美術家・鍼灸師)

ご結婚  
おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを  
念じ申上げます。

(一)内は最終卒業・修了年(敬称略)

※同窓会本部掌握分



- 清原 良潤 ● 秦 明子(二〇〇三)
- 難波 教行(二〇〇八修) ● 尾崎 文栄
- 大城 盛作 ● 東 加寿子(二〇〇三)
- 玉野 正聡(二〇〇四修) ● 松井 見帆
- 久斗 勝雄(二〇〇六文) ● 徳野 充子(二〇〇四短)
- ※大谷大学尋源講堂で仏前結婚式をお受けしています。お問  
い合わせは、総務課(但七五―四一―八二六)まで。

## 敬弔

ご生前のご功勞を偲び、  
謹んで哀悼の意を表します。  
(一)内は最終卒業・修了年(敬称略)  
※同窓会本部掌握分  
「」内は旧姓名(ただし、希望者のみ掲載)

- 伊藤「橋本」輝美 文学部(一九七四) 二〇〇九・八・三〇
- 阿 康文 文学部(一九四七) 二〇一〇・一・二
- 細川 雪郎 大専門(一九四二) 二〇一〇・六・九
- 清水 明美 短期(二〇〇七) 二〇一〇・七・一
- 長弘 文夫 文学部(一九五七) 二〇一〇・七・二〇
- 大屋 徳了 文学部(一九四六) 二〇一〇・二



# 窓

# 同

## 「恕（おもいやり）と志し」

福岡 千幸

(一九九六年文学部・社会学科卒業)

これまで私が大学時代にどんな事を吸収し、今にどう生かしているのかを考えた時、恩師、瀬戸進先生の言葉「恕（おもいやり）」を思い出します。

恕：自分を思うのと同じように相手も思いやる。

在学中私は、体育会サッカー部マネージャーとして大半の時間を費やしました。今振り返ると、クラブでは、想像以上に責任力と仲間意識、リーダーシップを必要とされたように思います。

プレイ中、仲間とアイコンタクトで先を予想しパスを行う。サッカーでは当たり前の事でも、先生は仲間としての信頼の必要性、プレイヤー同士の「おもいやり」の気持ちを熱心に説いていらつしました。

また、「優しい」とは違い、時に厳し



く大声で怒鳴られたり、呼び出しを受け指導されたこともあります。その中で私たちは、大学リーグ二部から一部昇格という目標に向かって、部員一同、力を注いだのです。

大学時代に私が吸収したこと。

それは、仲間への「おもいやり」と目標に突き進む力強い「志し」だと思っています。

今私は、FM京都でDJとして番組を担当しています。この仕事は、私の大学時代からの夢であり、FM京都は、憧れの場所でもありました。実際、この場所に來るまでに、相当な時間がかかりました。しかしそこには、大学時代と同じ目標に向かう「志し」があったのです。

私はラジオ人として、いつも心がけていることがあります。それは、「自分が発する言葉で誰かを傷つけていないかどうか」。一方には、励みになる言葉だったとしても、他方には、ひどく心を傷つけてしまう言葉かもしれない。自分を思うのと同じように相手を思いやる。この仕事において重要なポイントです。

「おもいやり」と「志し」、私にとって大切な言葉。

今、先が見えない困難に直面している方々へもこの言葉を贈りたいと思います。

(FM京都DJ)

大橋 秀賢	短期(二六)	二〇〇〇・一〇・九
青木 威磨	大専門(二四)	二〇〇〇・一〇・三
和田 法雄	大学部(二四)	二〇〇〇・一〇・三
前田 晁賢	文学部(二五)	二〇〇〇・一〇・三
藤川 隆丸	短期(二五)	二〇〇〇・一〇・三
佐藤 哲了	短期(二五)	二〇〇〇・一〇・三
河崎 顕誠	大専門(二四)	二〇〇〇・一〇・三
愛知 暢磨	修士(二七)	二〇〇〇・一〇・二
松尾 闡昭	大予科(二四)	二〇〇〇・一〇・二
今村 善勝	文学部(二五)	二〇〇〇・一〇・三
藤井 淳一	大専門(二四)	二〇〇〇・一〇・三
稲垣 和夫	文学部(二六)	二〇〇〇・一〇・三
本多 巨	大学部(二五)	二〇〇〇・一〇・三
月輪 照雄	大専門(二四)	二〇〇〇・一〇・三
川原 宣昭	大学部(二四)	二〇〇〇・一〇・三
太田 崇夫	大学部(二八)	二〇〇〇・一〇・七
室殿 彊	文学部(二五)	二〇〇〇・一〇・四
森 義順	文学部(二六)	二〇〇〇・一〇・四
榊原 俊男	大学部(二四)	二〇〇〇・一〇・九
濱崎 有希	文学部(二〇)	二〇〇〇・一〇・三
竹中 信雄	大学部(二四)	二〇〇〇・一〇・三
金 常人	文学部(二七)	二〇〇〇・一〇・二
加藤 正憲	文学部(二七)	二〇〇〇・一〇・三
鷹尾 猛	大専門(二四)	二〇〇〇・一〇・三
藤原 修一	文学部(二五)	二〇〇〇・一〇・三
笹埴 徳	文学部(二七)	二〇〇〇・一〇・三
宮尾 正瑞	文学部(二五)	二〇〇〇・一〇・五
佐々木 令信	博士(二七)	二〇〇〇・一〇・六
鷺尾 法幸	大専門(二五)	二〇〇〇・一〇・三
中村 法雄	短期(二七)	二〇〇〇・一〇・七
金川 賢爾	文学部(二七)	二〇〇〇・一〇・三
秋月 観映	大学部(二四)	二〇〇〇・一〇・八
松岡 亮昭	文学部(二四)	二〇〇〇・一〇・六
中嶋 観雄	文学部(二七)	二〇〇〇・一〇・七
安藤 三枝子	会友(一)	二〇〇〇・一〇・六
四衢 雅	大学部(二四)	二〇〇〇・一〇・五
篠岡 誓弘	文学部(二六)	二〇〇〇・一〇・三
古川 義憲	大専門(二五)	二〇〇〇・一〇・七
奇山(実)千幸	短期(二七)	二〇〇〇・一〇・二

「関係性からの創造」

大学生の多様化が話題になって既に久しいが、何かのきっかけで旺盛な意欲や独創的なアイデアを見せる学生が多いことは必ずしも十分に認識されていないようだ。最近、学生諸君が強い関心を示すもの一つに「仮説思考」がある。ここ数年、社会人の間では「論点思考」「地頭力」などの名でたびたび話題になっているものだ。

社会的「人材」養成ではなく、個性的な「人物」育成を目指す本学の教育理念と、これらは決して矛盾するものではない。その発想法は、高校までの知識偏重型「網羅思考」とは違った学びの視野を与え、学生を社会的価値観や権威からいったん自由にし、のびやかな自己の発見に導く力を秘めるものだからだ。

ここでゼミ生の「仮説思考」の実例を一つ挙げさせていただく。グーグル社の社員食堂はいつでもタダであることを紹介したテレビ番組を見て考えたという。気楽に共に飲食し、自由気ままな談笑のなかでこそ斬新なアイデアが得られるという考えが番組からわかった。彼はそこから「食・創造・笑い」という三つのキーワードを抽出し、それらを「共生」(コンヴィヴィアリティ)と今日的な「持続可能性」のテーマに、さ

らには、『星の王子さま』の「成長」と「笑い」のテーマにつなげ発展させた。ちなみに『星の王子さま』の二つのテーマは、こうした関係性のなかではじめて浮かび上がった切り口である。グーグルの運営方針と文学の間には常識的には相当な距離があるが、離れたテーマを遊び心でうまくつなげることも「仮説思考」の醍醐味であり、その「独創性」によって本人の意欲を一層高めることにもなる。

学生たちと日頃から行っている気楽なブレインストーミング的「対話」がそうした仮説づくりに寄与できているらしいこと、また、ほぼ全員のゼミ生がアポイントをとって、授業外に自発的に研究室を訪れてくれることは、ときに対応に大汗をかくとはいえ、教師冥利につきる経験である。また私自身にとってもそれは常に新鮮な学びの場となってきた。

近年は大学の大衆化によって、組織的なFDをいかに効率的に活用するかが大きなテーマとなっているようにも思えるが、本学らしい血の通った個別指導的要素を確保し、同一レベル目線での「学び合い」の場をいかに大切にするかは、今後の大学教育の命運を左右するように思えてならない。

大谷大学教授・フランス文学、フランス文化

並木 治

表紙絵

「煙」(部分)

175.0 × 728.0 cm 二〇〇四年作

私は週一回大谷大学でインド美術の講義を行っており、二眼目の授業が終わり三眼目の授業の前に、「先生一つどうですか」と菓子箱を差し出した学生がいました。震災のボランティアに行ってきた帰りに仙台で買ったという菓子でした。私も若ければボランティアに行くのにも思っていましたので、嬉しい思いがしました。六十余年生きてきても、一寸先が見えないのです。過去があり、今がある。そして未来への希望がなければ、生きることはとても苦しいのです。常に想定外のことはありません。

三月十一日の東日本大地震では、我が身に置き換えて考えてみる機会を与えられました。他人事とは思いません。少しの期間の生活費などではなく、これから生活していくことの希望への役に立ちたいものです。地震は天災ですが、原発事故は人災です。日本の原発のほとんどが海岸にあり、今度のような大津波がくればひとたまりもありません。

私はインドとイギリスで多くの原発を見ました。日本と違い原発の煙突はカルデラ型で、恐ろしい程美しい形のせり上がりを持つ、人間のつくりえた巨大なものを畏怖してきました。インドでは、仏跡巡礼の拠点となるパトナには町の中に原発がありますし、南インドの仏教遺跡のアマヴァアティに向かう途中の延々と続くバナナ林の先にも原発が見えます。私が染織の調査で訪れるグジャラート州には八基の原発があります。一九七〇年にその新州都となったガンディナガールはフランスの建築家ル・コルビジェが都市計画をしています。三十六年前に訪れたときは出来立ての原発の下で、掘立小屋がたくさんあり、その水を飲み悲惨な生活をしている人々を目にしました。そこから原発を見て巡ることになりました。そこにはつい数年前にも訪れましたが、塀一枚で原発と人家が仕切られただけで原発は稼動し煙突から白い水蒸気を出しています。今回の事故は世界中の人々にとって原発の是非を考える機会となりました。いったん外に出た放射能は簡単には消えてくれません。目先のことや、自身の欲や得でなく、ひたすら人間の幸せを願うことと思えます。自然の恐ろしさを知ると共に、その力や姿を敬い、足るを知って生きていく覚悟が必要となってきました。

島中光享(一九七〇年文学部卒業)

日本画家  
大谷大学非常勤講師

2011年9月22日発行

発行 大谷大学同窓会本部  
編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内  
電話 (075) 411-8124 FAX (075) 411-8157  
振替 01020-9-20542

同窓会ホームページ <http://www.mujinto-otani.org/>

E-mail:kouyu@sec.otani.ac.jp

『無盡燈』の題字について 親鸞聖人の真蹟の坂東本『教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈というのは、譬えば一つの燈をもって百千の燈をともしようなものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることはない。…説かれた教えのとおりにみずから一切の善いことがらを増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。